令和7年第3回定例会

一般質問通告一覧表

令和7年9月3日

通告順	質問議員	質問事項	時間	備考
1	1番 齊田 光門	① 海浜運動公園整備は大丈夫か ② 高齢者の集える環境整備を	50分	午前9:00 ～9:50
2	9番 松田 悦郎	① ふるさと納税額増加策は ② 高規格道路計画の現状は	40分	午前9:50 ～10:30
休憩(20分)				
3	3番 江田 加代	① 全国一斉学力テストについて ② 介護サービス料に公費支援を	60分	午前10:50 ～11:50
昼食				
4	8番 橋井 満義	① 旧うなばら荘の今後は ② 村有地の管理状況について	80分	午後1:00 ～2:20
休憩(15分)				
5	6番 石原 浩明	① 地域計画の実態は ② コミュニティスクールについて	60分	午後2:35 ～3:35
6	5番 前田 昇	① 村民への情報提供・情報共有を ② 総合計画の後期見直しについて	60分	午後3:35 ～4:35

一般質問通告書

1. 齊田光門議員(1番)

(通告予定時間 50分)

質問事項	要 旨 (具体的に記入してください。)	答 弁
①海浜運動公園再整備は大丈夫か	<p>海浜運動公園再整備事業は3月一般会計予算で工事請負費405,328千円で計上され、6月26日公募型プロポーザルの結果により請負者(落札)山印・平井組特定建設工事共同体と仮契約、7月16日臨時議会が開催された。臨時議会の前に議員への説明で全員協議会が開かれ、請負業者・契約金額が提示された。説明内容はそれのみで、議員全員途方にくれました。約4億の工事金額で業者名・金額のみで議案の可決を?工事金額の内訳や再整備する内容等何も説明もない。</p> <p>結果、説明資料作成のため、臨時議会は9:30開会予定が11時から開会し、辛うじて可決した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 工事請負費の試算(設計)はどのように ② 仮契約と本契約の請負者が変わった理由は ③ 工期は来年3月まで(工期延長は) ④ 工事完了までの日程は ⑤ 村民の意見交換内容は反映させるのか 	村長
②高齢者の集える環境整備を	<p>日吉津村デイサービスセンターは3月定例会で指定管理制度の導入が可決され、7月8日に指定管理者選定委員会にて(株)ライオンハートが第1位候補者となり7月16日臨時議会開催、全会一致で可決した。(株)ライオンハートは米子市熊党で日吉津村に隣接し、多数の看護師が在職、デイサービスを始め、介護に関しても多様な管理が可能となる。</p> <p>現在打合わせにて、器具等の有無についても詳しく擦り合わせが行われ、全面的に10月から指定管理がスタートする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 村デイサービスセンターの今年4月以降の利用実績と収支は ② 居宅介護支援事業の停止状況(ケアマネージャー不在) ③ 日吉津村社会福祉センターの修繕、改修を 	村長

	<p>社協は建物の老朽化が進み修繕改修が必要な状況にある。以前は2階で芸能大会など開催、現在は子育てサークルやフレイル予防などに使用されている。1階のフロアでは高齢者の方がお茶を飲む姿を目にしていたが、現在ほぼ使用されていない。老人会を廃止する自治会もあり、活動も少ないなど集える環境整備が必要である。既にエレベーターは修繕の取替部品がなくなり、故障時、車イスの方々の対応ができない状況。建物各箇所の改修が必要であり、社協は赤字経営、資金の枯渇化で、行政の予算計上が重要視される。</p>	
--	--	--

一般質問通告書

2. 松田悦郎議員（9番）

（通告予定時間 40分）

質問事項	要 旨 (具体的に記入してください。)	答 弁
①ふるさと納税額増加策は	2024年度のふるさと納税額は、県と19市町村全体で寄付額が過去最高で75億1847万円となった。 中でも日吉津村は、減少率が最も少ない39.6%の3993万円と言われている。 その対策として株式会社ひえづ村づくり公社などを立ち上げられたが、増加策としてどのような対策を考えているのか伺う。	村長
②高規格道路計画の現状は	高規格道路の事業着手の前提となる計画段階評価が始まり、また、三つの大まかなルート帯案を提示された。 さらに、アンケート調査を米子市、境港市、日吉津村などで実施される予定である。 高規格道路開通に向けて、いよいよ大詰めに差し掛かったようだが、現状の状況を伺う。	村長

一般質問通告書

3. 江田加代議員（3番）

（通告予定時間 60分）

質問事項	要 旨 (具体的に記入してください。)	答 弁
①全国一斉学力テストについて	<p>全国一斉学力テストは2007年4月から毎年、小学校6年生と中学3年生を対象に行われており、本村も参加している。</p> <p>各学校で一人ひとりの学習の状況を把握して、学力向上の指導、改善に生かされているのか等の検証状況を問い、教育改革市民フォーラムが実施されたアンケート結果について教育長の所見を伺う。</p> <p>教育現場で日々子どもたちと向き合っておられる教員は、この全国一斉学力テストをどのように捉えているのか、その実態と教員の意識を把握するため、全国各地から先生方が参加する「教育改革市民フォーラムの取り組みの一環として、臨床教育学的立場からアンケートを実施されている。</p> <p>調査期間は2009年4月から7月、調査方式は調査の対象者自身が調査票の質問を読み、回答を記入する方式、対象者は公立小・中学校の教員で、全員参加に近い研修会、講演会場にて、調査票は主催者を通して配布、回収されている。有効回収率73.3%。</p> <p>設問①「現在のような全員参加の全国学力テストは、いっそのこと中止するべきだとの声もありますが、あなたはどうかお考えですか？」との問いに、中止に賛成の教員が65.4%、継続した方が良いが12.7%、分からない11.3%、不明10.6%。</p> <p>設問②「あなたの学校にとって、全国学力テストは学力向上に役立つと感じますか？」との問いに対して、「学力向上には役立たない」62.9%、「大いに役立つ」は1.3%、まあまあ役立つが23.4%。</p> <p>「教員のなり手不足」「教員の働き方」が大きな社会問題になっています。</p> <p>全国一斉学力テスト中止の選択肢は、先生の働き方改革の一助になるのではないのでしょうか。教育長の答弁よろしく願いいたします。</p>	教育長

②介護サービス料に公費支援を	<p>介護保険導入時、南部箕蚊屋広域連合介護保険事業計画策定の目的に、「介護が必要な状態になってもみずからの意思に基づいて、利用するサービスを選択し、自立した生活を送ることができるように積極的に支援することが必要です」とある。</p> <p>介護保険は、公費負担が増えない限り、医療給付が増えれば保険料が増え続ける仕組みになっており、年金生活者にとっては天引きされる保険料の負担増は生活費に大きく影響する。</p> <p>介護保険は、強制保険であり経済的理由でサービスを利用できないということがあってはならない。必要な人に必要なサービスが利用できるように、介護サービス料を年金で賄えない部分は公費を入れて支援し施設入所を選択できるようにする必要があると考える。村独自に支援する考えはないか。</p>	村長
----------------	---	----

一般質問通告書

4. 橋井満義議員（8番）

（通告予定時間 80分）

質問事項	要 旨 (具体的に記入してください。)	答 弁
①旧うなばら荘の今後は	旧うなばら荘はRアクトホールディングスに転売され、本年12月にはオープンと聞いていたがその動向がまったくくない。 村民からどうなっているのかの問いにも返答に困る状態である。ボイラーの老朽化を理由に期日延期をにおわせる発言もあった。業者の経営状態を含めて現状報告を求める。	村長
②村有地の管理状況について	村有地の状況については各土地の詳細を一覧表にして明示の上提出。 ・米子市岡成、大山町大谷の利用状況 ・田園居住区内の土地利活用についての所見	村長

一般質問通告書

5. 石原浩明議員（6番）

（通告予定時間 60分）

質問事項	要 旨 (具体的に記入してください。)	答 弁
①地域計画の実態は	<p>令和7年2月に各自治会公民館において、農業における地域計画（案）に係る説明会が開催された。地域計画とは地域農業の将来のあり方を定める計画で、概ね10年後の耕作者を、地図上に落としこんだ「目標地図」を作成するものとされている。この地域計画について伺う。</p> <p>① 村の地域計画はできたか。その実態はどうか。</p> <p>② 地域計画を受けて、村の農業に対するビジョンは。</p> <p>③ 農業において、「村づくり公社」の活用はどうか。</p> <p>④ 農業への新規参入者への支援は。</p> <p>⑤ 農地は、地域で守っていくことが大切と考えるが、その方策は。</p> <p>⑥ 農機具修理などへの補助は。</p>	村長
②コミュニティ・スクールについて	<p>本村では、令和3年度からコミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）を導入し、「地域とともにある学校」を推進している。その中の「熟議」について、参加者からは良い会だったという声を聞くが、コミュニティ・スクールについて村民には知られていないのではないかと考えるがどうか</p> <p>① コミュニティ・スクールとは</p> <p>② これまでの取り組みの成果と課題は</p>	教育長

一般質問通告書

6. 前田昇議員（5番）

（通告予定時間 60分）

質問事項	要 旨 (具体的に記入してください。)	答 弁
①村民への情報提供・情報共有を	<p>「参画と協働のむらづくり」をすすめる上で、まず必要なのは、役場から村民への丁寧な情報提供と情報共有である。様々な施策について、その計画内容の公表のみならず、村民意見を聴取するためのプロセスが重要であり、あらかじめタイムスケジュールが村民に示される必要がある。その点で村の対応は、不十分だと感じているが、いかに。</p> <p>次の点について問う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 海浜運動公園の第2期リニューアル整備計画の村民への説明と意見聴取などのタイムスケジュールはいかに。 ② 平成25年に策定され、その後の見直しがされていない日吉津村男女共同参画計画について、その後の対応はどうなっているか。 	村長
②総合計画の後期見直しについて	<p>第7次総合計画の後期見直しがなされようとしているが、前期計画については、あまりに簡略化され、村の基本方針や各種施策について村民と共有する計画になっていないことを、以前から指摘している。したがって、後期見直しは、前期計画をもとに修正するのではなく、あらためて村の多様な施策について、村民にも具体的に伝わる内容とすべきだと感じる。総合計画の見直しにおける基本姿勢とすすめ方はいかに。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 本村の第7次総合計画は、周辺他の市町の計画と比べて、極端に簡略化されている。その意図、理由はなにか。 ② 総合計画は、言わば、村民に対する村政としての約束であり、村民と今後の施策に向けた共通理解のための重要な計画であると考えているが、その点について、どう理解されているか。 ③ 総合計画の見直しに向けたプロセスを示されたい。 	村長